

2025年度の主な取組の紹介

本市では、子供たちが自ら学び、自ら考え、主体的に行動し、未来の創り手となれるよう、教育の充実に取り組んでいます。2025年度に重点的に行う取組を紹介します。

① 学年（チーム）担任制の実施

学年（チーム）担任制とは、学級担任を固定せず、複数の教員がローテーションで行う学級運営の方法です。児童生徒の様子を複数の視点でみることができ、児童生徒の変化に気づく機会が増えます。また、児童生徒が場面に応じて相談する先生を選択することができます。

本市では、児童生徒に向き合い寄り添う学校づくりの一つの方法として、学年（チーム）担任制の導入を積極的に進めていきます。2024年度は9校でモデル実施しましたが、2025年度は50校で導入する予定です。

導入した学校の児童生徒・保護者の声

<児童生徒>

- 担任の先生が変わるので、自分の考えが広がった。
- 相談できる先生が増えたのでうれしい。
- 先生が毎週変わるので、多くの先生と親しくなることができ、先生の良さを知ることができた。

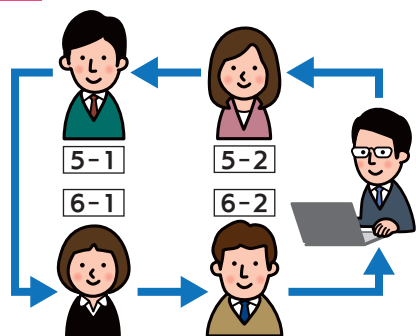
<保護者>

- 複数の先生が見てくれることで、相談先が増えた。
- 複数の先生からの話を聞くことで、子供の多様な面を知ることができた。
- 子供のことを理解してくれる先生が複数いることで安心できた。

● 実施例

例 1

小学校5、6年生4学級に5人の教員が週ごとや月ごとに入れ替わりながら学級業務を行う。

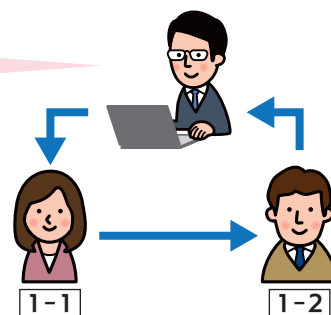


<学級を担任しない日の業務>

- ・ 授業の準備
- ・ 学級運営の支援
- ・ 児童生徒への個別の支援
- ・ 他の教員のサポート
- ・ 保護者との連絡相談
- ・ 学年の事務処理 など

例 2

中学校1年生2学級に3人の教員が週ごとに入れ替わりながら学級業務を行う。



② 特別支援教育の充実

● 特別支援教育相談センターの充実

面談体制を強化し、適切な就学先選択に向けた支援を行います。また、新たに学校支援チームを立ち上げて、小・中・義務教育学校での特別支援教育のサポートを行います。

● 自校通級指導教室の整備

発達障害、情緒障害の児童生徒が通学している小・中・義務教育学校で指導が受けられるよう、自校通級指導教室の整備を進めます（設置校を58校から77校へ拡充）。

● いぶき明生支援学校分校の設置

いぶき明生支援学校の児童生徒が増加しているため、旧本多聞小学校を改修していぶき明生支援学校の分校（小・中学部）を設置します（2028年開校予定）。2025年度は校舎の改修工事の設計等を行います。

● 医療的ケア支援の拡充

医療的ケアが必要な児童生徒に対して派遣している看護師の派遣時間の上限をなくします。

その他の主な取組一覧

●個別最適な学びと協働的な学びの充実

- ・学習用パソコンを活用した学力・学習状況調査を実施し、授業の改善に活用
- ・放課後学習や同室複数指導、少人数指導などを行う「学習指導員」を全ての小・中・義務教育学校に配置
- ・使いやすく壊れにくい、子供たちが活用しやすい学習用パソコンへ更新

●英語教育の充実

- ・姉妹都市等との国際交流、ALT(外国語指導助手)との日常的なコミュニケーションの環境づくりの促進等、生きた英語に触れて学ぶ機会の充実
- ・英語力向上に向け、生徒の到達度や課題を把握する英検IBAを中学校全学年で実施

●体力向上に向けた取組の推進

- ・学習用パソコンを活用し、運動意欲の向上・運動の習慣化の取組を実施
- ・運動場を活用した「放課後運動遊び事業」の実施による運動機会の充実

●小学校教科担任制の推進

- ・小学校高学年で、専門性の高い教科指導を行う教科担任制を推進
(小学校中学年でも児童の発達段階や学校状況に応じて実施)



●不登校の児童生徒に対する支援

- ・不登校の子供の新たな学びの場として学びの多様化学校「みらいポート」を開校(2025年4月)
- ・学級に入りづらい児童生徒の教室以外の居場所として全校に設置している「校内サポートルーム」に、引き続き支援員を配置
- ・対面での支援が難しい児童生徒を対象に、学習支援やコミュニケーション支援をオンラインで試行的に実施

●いじめ未然防止学習の推進

- ・児童生徒が主体的にいじめについて考え、理解を深めるために、本市独自の学習指導案を作成し、児童生徒の発達段階に応じた授業を実施

●外国人児童生徒等への支援

- ・日本語指導が必要な児童生徒を対象に、初歩的な日本語を学習する拠点教室や、学習活動に参加するための日本語習得支援教室を実施
- ・支援員による通訳や同時通訳支援機器の活用により、児童生徒の母語による学習支援を実施

●あたたかくておいしい給食の提供

- ・2026年1月に、市内全ての中学校で全員給食に移行
- ・中学校給食費の半額助成を継続
- ・食材価格の高騰分を公費負担し、保護者負担額を据え置き(小学校:260円/食、中学校:170円/食)

●学校園の大規模改修・長寿命化改修

- ・学校園の老朽化対策を行い、安全・安心な教育環境を確保(小学校12校、中学校8校)

●小学校35人学級編制の実施

- ・6年生の学級編制基準を35人に変更し、小学校全学年で35人学級編制を実施

●「KOBE ◆ KATSU」の推進

- ・「KOBE ◆ KATSU」(コベカツ)の2026年度開始に向けて、必要な環境の整備や活動団体の確保等の取組を推進

●コミュニティ・スクールの推進

- ・学校運営協議会を中心として、学校・保護者・地域住民等の相互連携をより一層促進

●小学校における早朝受入れ

- ・保護者が登校時間より先に出勤せざるを得ない家庭を対象に、地域の協力のもと児童の居場所を確保する「早朝受入れ事業」を試行実施



※ご紹介した2025年度の取組に関する予算は、市会での議決を経て成立します。

部活動から「KOBE◆KATSU」へ

本市では、2026年8月末に中学校部活動を終了し、地域の方々とともに活動する「KOBE◆KATSU(コベカツ)」の開始に向けて取り組んでいます。



●「コベカツ」とは

中学生が放課後や休日に校区を越えて、様々なスポーツ・文化芸術活動に参加できる新しい仕組みです。趣味や交流を楽しむレクリエーションクラブから、大会やコンクール出場を目指すクラブまで、子供たちが主体的に多様な活動に参加できる機会の確保を目指しています。

●「コベカツクラブ」を公表します

子供たちに活動の場を提供する団体「コベカツクラブ」の第1次募集を行いました。600件を超える応募があり、中には今までの部活動にはなかった活動を行う団体もあります。審査の結果、登録した「コベカツクラブ」を3月下旬にホームページで公表します。6月頃に第2次募集を予定していますので、「コベカツ」にご興味のある方は是非参加をご検討ください。応募条件などの詳細はホームページでご確認ください。



「コベカツ」
ホームページ



第1次募集で応募があった主な種目・活動

- バスケットボール ●バレーボール ●サッカー・フットサル ●軟式野球 ●卓球 ●ソフトテニス
 - バドミントン ●空手 ●カンフー ●剣道 ●陸上競技 ●ダンス ●吹奏楽 ●ものづくり
 - 社会貢献・地域活動 ●野外活動・山登り ●プログラミング ●茶道 ●美術・絵画・造形
- ※他にも多数の種目・活動があります。右上の二次元コードから「コベカツニュース」をご覧ください。



コミュニティ・スクールの推進に向けて

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校運営にあたって保護者や地域等と連携し、子供たちの学びや成長を支える重要な仕組みです。本市では、各学校において、コミュニティ・スクールの取組を進めています。今回は、垂水区の東舞子小学校の取組をご紹介します。

東舞子地域未来会議 ～10年後、20年後も住み続けたい東舞子の町へ～

学校と学校運営協議会が「東舞子地域未来会議」を主催し、6年生の児童と保護者や地域の方々と、よりよい地域の未来について話し合いました。

子供たちは、地域のことを調べたり、地域の魅力や課題・未来に向けての想いについて地域の方々にインタビューしたりする中で、自分たちができることを考え、地域の方々にプレゼンテーションを行いました。



<話し合ったテーマ>

- ポイ捨てごみが多い ●地域の関わりを増やして明るいまちに
- 街灯が少ない ●災害が起こっても安全安心なまちに

地域の方々からも色々な意見が出され、地域の未来を大人も子供も一緒になって語り合いました。多様な考え方に触れることで、子供たちが地域を構成する一員としての意識を高め、未来に向けてどのように行動するのかを考える機会となりました。

ICT教育イベント「KOBEXGIGAフェス」を開催しました

2024年11月23日(土・祝)に、なぎさ小学校でICT(情報通信技術)教育イベント「KOBEXGIGAフェス」を開催しました。

情報モラルについてのワークショップや授業支援ソフトの体験会、学習用パソコンを利用した模擬授業、高校生や中学生によるプログラミング体験会等を行い、多くの保護者がICTを活用した子供たちの学びを体験しました。



▲学習用パソコンを利用した授業体験

●参加者の声

- 令和の小学校教育のICT化が想像以上に進んでいて驚きました。近い将来、ICT教育を小学校から受けた世代と一緒に働くのが楽しみです。
- 子どもの頃から自分の意見を公開するということに慣れるので、社会人になってもプレゼンテーションをする能力として役立つと思いました。
- 思っていた以上にパソコンでできることがあるとわかって楽しかった。



詳しくはこちら

よいおこないをした児童生徒の表彰

子供たちの心の中によりよい社会づくりに貢献する意欲と勇気を培い、児童生徒の健全な育成を図ることを目的に、よいおこないをした児童生徒を毎年表彰しています。今年度は個人3名と7グループを表彰しました。

	学校名	学年	名前	概要
個人	御影中学校	3年	吉村 陸仁	【地域貢献活動】近隣の公園にごみが多いことに気づき、小学5年生から現在までごみ拾いを続けている。
	菖合中学校	3年	丸山 聖羅ティオン	【人助け】パジャマ姿で座っている高齢の女性の様子がおかしかったため、近くの交番に連れて行き、電話で警察官を呼び、保護してもらった。
	玉津中学校	3年	藤岡 陸椰	【人助け】車が故障して立ち往生していたため、運転手や家族がレッカーの手配などを行っている間、交通整理を行った。
グループ	鶴甲小学校	6年	清原 梨花 宮本 茉那 中村 梓乃	【人助け】体調を崩し道端に座っている高齢者を発見し声をかけた。直後に体調が急変し嘔吐したので救急要請した。家族からは一命をとりとめたと連絡があった。
	若宮小学校	6年	天清 礼聖 藤原 魁輝 小島 昊士	【人助け】公園で後頭部や肩から血を流した高齢男性を発見した。周りの人に警察への通報を頼み、自ら消防署へ駆け込み救急要請した。救急隊員と警察署員が駆け付け、大事に至らなかった。
	住吉中学校	2年	脇田 一輝 福岡 魁虎	【人助け】駅の近くで倒れている高齢男性を発見し、頭から出血していたため救急要請した。高齢男性は持病があり、そのまま放置されていたら大事に至っていたと家族から感謝の連絡があった。
	御影中学校	3年	浅井 思衣 井上 春	【人助け】高齢女性が座り込みしんどそうな様子であったため、声をかけると、家の帰り方を忘れてしまったとのことだったので、警察署まで連れていき、状況を報告した。
	菖合中学校	3年	富山 幸之助 町 源太郎 耿 鼓晴	【人助け】公園で落ち込んだ様子の児童2人に声をかけ、児童に家に帰るよう説得し続けながら見守り、付近を捜索中の警察官に児童を引き渡した。
	港島学園 (後期課程)	9年 8年	福田 永遠 山勝 智博	【防犯】商店街で酒に酔った男性が通行人に迷惑をかけていたため、110番通報し、到着した警察官に状況を伝えて、被害の拡大を防いだ。
	舞子中学校	3年	中島 愛美梨 藤井 芽生	【人助け】高齢女性が自転車走行中に鉄板スロープで滑り転倒し、車道側に投げ出された。その場に居合わせたごみ収集車の職員に救急要請を依頼した。

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL：984-0608 FAX：984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト

